

各 位

上場会社名	ファーマライズホールディングス株式会社
代表者	代表取締役社長 大野 利美知
(コード番号)	2796)
問合せ先責任者	専務取締役執行役員 秋山 昌之
(TEL)	03-3362-7130)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年10月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,100	820	750	300	40.00
今回修正予想(B)	18,393	733	613	192	25.71
増減額(B-A)	293	△86	△136	△107	
増減率(%)	1.6	△10.6	△18.2	△35.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年5月期第2四半期)	14,995	639	506	643	85.83

(注)平成25年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、以下の理由から上記のとおり修正いたします。
 売上高は処方せん単価の上昇等により堅調に推移いたしました。利益面は前回予想を下回る見込であります。営業利益につきましては、今後の店舗展開に備えた人員採用等により労務費が増加したこと、高付加価値戦略に係るシステム投資により減価償却費が増加したこと、一方で効率化を目的とした医療モール事業の移管(ファーマライズ株式会社(5月期決算)から北海道ファーマライズ株式会社(3月期決算)への移管)に伴い当第2四半期連結累計期間では同事業の2か月間の業績が反映されないこと等の理由から、前回予想比を10.6%下回る見込であります。また、経常利益につきましては、長期資金調達に伴う費用計上等が加わり、前回予想比△18.2%となる見込であります。四半期純利益につきましては、店舗閉鎖に伴う固定資産除却損の計上等により、192百万円(前回予想比△35.7%)となる見込であります。同実績は、前期同期間と比較して450百万円の減少となりますが、その主な要因は、前期同期間に持分法適用関連会社の連結子会社化に伴い段階取得に係る差益として413百万円を計上したこととあります。
 なお、通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。また、平成25年10月15日付で公表した『「中期経営計画 12-14～質と量のバランス良い両立を目指して」の更新について』に記載した【経営数値の目標】につきましても、変更はありません。

以 上